

トルコ 目標はザクロの輸出を2倍に

FreshPlaza 2023年10月3日

トルコの生鮮食品輸出業者エレン社のコスクン・エレン販売部長は、トルコのザクロ生産量は増加しており、輸出を倍増する時だと言う(以下「」は同氏の発言)。「今年は平均またはそれ以上の作柄を予想している。準備は出来ており、収穫はすぐに始まる。今年の2大目標は、海外での販売量の倍増と、欧州の小売チェーンとの事業の確保である。暑さの問題もあるが、正しく操業すれば、それらの問題は軽減できる。」

エレン社がザクロを栽培している地域では出荷量の増加が見られるが、減少が見込まれている地域もある。「トルコの主要ザクロ産地に対する多様な期待を考えると、実際の生産量はやや難しい状況だ。例えば、弊社があるメルシン県では、地方自治体や業界団体からザクロも柑橘類もかなり多いと言われているのに対し、生産量トップのアンタルヤ県では、日焼けや開花の遅延の問題を心配する声が出ている。後者の地域の減少が前者の増加を上回り、2023-24年度シーズンの全体的な出荷量はやや少なくなると予想している。」

トルコは、恐ろしい地震と熱波の両方への対処を迫られた。前者は現在の状況に影響を与えないが、エレン氏は熱波がザクロに影響を与えたことを認めている。「熱波は、アンタルヤ県などいくつかの産地ですでに生産量の減少と品質の問題を引き起こしている。しかし、他の地域では状況はまだ良好である。地震が農業部門に与えた影響は、現時点ではほとんどない。物流面でも耕作面でも、地震による悪影響はない。」

ザクロのサイズに関しては、一部の地域では昨年とほぼ同じであるが、他の地域では小さくなるとエレン氏は説明する。「メルシン県では昨年よりも小さくなると予想される。大部分は1果実当たり350~450gと予想される。もちろん、550g以上や350g未満の果実もあるが、大部分はこの範囲にあると思われる。アンタルヤ県に関しては、サイズは昨年と同様で大部分は1果実当たり約380g~550g以上であると予想される。」

今後についてエレン氏は、多くの変数があってどこに向かっているのかを見るのは難しいと述べている。「価格を決定する可能性のある要因が複数あるため、今年は予測が難しい。トルコ産の量の減少、熱波が品質に与える影響、及び競合国における問題を考慮すると、平均的に見てトルコ産ザクロの需要が増えそうである。その結果、昨年に比べて価格が上昇する可能性がある。」 執筆者: ニック・ピーターズ

(関連記事)トルコ 今年ザクロの需要が非常に高い

FreshPlaza 2023年10月4日

アラナール社の販売コーディネーターであるイギット・ギョキギット氏は、トルコの天候はザクロの出荷量を減らしそうと言う(以下「」は同氏の発言)。「トルコでは今週ザクロの出荷シーズンが始まる。最初の果実は9月下旬から10月上旬に国の西部地域で収穫される。その後、10月中旬に、国の南部と東部の地域で収穫される。今年は天候の影響で総収穫量は少なくなると予想される。これにより、樹上のザクロは大玉及び中玉が多くなる。したがって、今年は昨シーズンと比較して果実のサイズは大きくなるが、収穫量は少なくなる。」

同氏は、トルコの国は広いので、品質と色は地域によって異なると説明する。「ザクロが収穫される地域によって色も異なる。トルコの一部の地域では、本当に素晴らしい真っ赤な色の果実があるが、これは他のすべての地域に当てはまるわけではない。春には、開花中の降雨がザクロに悪影響を及ぼした。同様のことは、国内の他の様々な果実にも見られる。結果的に、トルコの今年ザクロの収穫量が少なくなる。」

トルコのザクロシーズンの結果を変える可能性のある要因はまだあると同氏は言う。「収穫の直前に雨が降ると - これは現時点ではありそうなことだが - 果実の品質にも影響を及ぼす。したがって、1級品のザクロが少なくなる可能性がある。今年は需要が非常に高い。ここ数年で最多のザクロを輸出する予定である。今年の主な市場はヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域になると考えている。」

コストの増加は、トルコのザクロの価格も上昇させるだろう、と同氏は言う。「ザクロの価格を見ると、今年は量の減少とコストの増加により、高くなると予想している。ザクロの価格は昨年も、それまでと比較して上昇した。今年の価格は昨年よりもさらに高くなると思う。」 執筆者: ニック・ピーターズ (一部省略しました。)